

## 会議録

会議の名称	令和3年度 第1回 西東京市地域自立支援協議会
開催日時	令和3年6月24日（木曜日）午後6時30分から午後8時まで
開催場所	田無第二庁舎4階 会議室1・2・3
出席者	木下大生委員、川口真実委員、平雅夫委員、横井純子委員、今野美穂委員、山縣弘典委員、渡辺真也委員、小川よし子委員、高橋加寿子委員、根本尚之委員、片寄雄介委員、山崎政俊委員 （オブザーバー）障害者総合支援センターフレンドリー 五十嵐センター長 基幹相談支援センターえぼっく 原埜氏、磯部氏 （欠席者）山田雄飛委員、江口めゆ委員、櫻井元委員、麓良久委員
議題	1 西東京市障害者基本計画中間見直し後状況調査について（報告） 2 第6期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画について（報告） 3 泉小学校跡地活用障害者福祉施設について（報告） 4 西東京市における地域生活支援拠点等整備方針について 5 相談支援部会について（報告）
会議資料の名称	資料1 第7期西東京市地域自立支援協議会委員名簿 資料2 西東京市障害者基本計画（平成26年度～35年度）中間見直し後状況調査票（令和元年度） 資料3 第6期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画 策定概要 資料4-1 西東京市における地域生活支援拠点等整備方針について 資料4-2 地域生活支援拠点等の5つの機能における本市の課題・現状・対応策。 資料4-3 西東京市地域生活支援拠点等体制イメージ図 資料4-4 地域生活支援拠点事業整備方針 資料5 令和3年度第1回西東京市地域自立支援協議会相談支援部会実施報告書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
傍聴0名	
1 委員、オブザーバー、事務局自己紹介	
2 議題	
(1) 西東京市障害者基本計画中間見直し後状況調査について（報告） 事務局より資料2を説明	
(2) 第6期西東京市障害福祉計画・第2期西東京市障害児福祉計画について（報告） 事務局より資料3を説明	
(3) 泉小学校跡地活用障害者福祉施設について（報告） 事務局より泉小学校跡地活用障害者福祉施設の概要を説明	

**【質疑応答】**

○発言者：委員

議題1について、実行できたこととできなかったことを見極め、次の計画の前にできることを実行してほしい。障害者に対する福祉サービスは年々向上しているが、障害理解の向上は課題となっているため、子どもの頃から障害理解を進められるよう工夫して授業の中に取り入れてほしい。

また、相談支援において、ワンストップでの相談対応を進めるために、IT等を活用し、情報の集約化に努めてほしい。

○発言者：委員

重点推進項目の中に権利擁護の観点を取り入れてほしい。

(4) 西東京市における地域生活支援拠点等整備方針について  
事務局より資料4-1～4-4を説明

**【質疑応答】**

○発言者：委員

基幹相談支援センターが要になってくると思う。地域の方々や障害福祉に係る関係機関が基幹相談を理解し、相談先を把握できるよう整備する必要がある。まずは、基幹相談のあり方を強化し、地域生活支援拠点等の実践をしていくといいと思う。

○発言者：委員

「親亡き後問題」についてどのように説明しているのか。

○事務局

地域生活支援拠点等整備事業については、障害のある方の重度化・高齢化や親亡き後を見据えて地域で支えるための事業整備である。基幹相談支援センターについては、求められる役割が変化しているため、国や東京都からの情報に注視しながら整備を進めていきたい。

○発言者：委員

相談支援専門員の知識向上のための教育や、基幹相談支援センターにおけるサービス情報の提供について整備する必要がある。

基幹相談支援センターに相談へ行くことが困難な方や相談する目的が分からない方への対応も重要。

○発言者：委員

基幹相談支援センターと睦月会が地域生活支援拠点等の5つの機能を任っているという理解でよいか。

○事務局回答

泉小跡地の施設内の短期入所を活用し、地域生活支援拠点等5つの項目のうち「緊急時の受け入れ・対応の機能」「体験の機会・場の提供の機能」を実施する予定。その他の「相談機能」「専門的人材の確保・養成の機能」「地域の体制づくりの機能」につい

ては、今年度の作業部会で引き続き検討していく。

○発言者：委員

基幹相談支援センターは、当事者や家族、事業所等支援者の声を聞く機会を持ち取組みを進めてほしい。

○発言者：委員

相談者は、事業所の名称で相談先を決めることがある。ここなら何でも相談できるという前面に出る窓口をきちんと作らなければいけない。西東京市の相談支援をどう構築していくか検討している中で、相談者をしかるべき相談先に繋げるようなシステムを構築していきたい。

○発言者：委員

事業所の数が増えているが、ネットワークの線が細いため、事業所のスタッフ、相談員や家族が分かりやすいようなスマートでシンプルなラインを提示してほしい。

○発言者：委員

生活困窮者の相談を受けていると、相談先との相性も重要だと感じる。相談先と合わない相談者に対する支援も、泉小跡地の施設等を活用してできればいいと考える。

○発言者：委員

基幹相談支援センターだけでなく、地域活動支援センターや他の相談支援事業所との連携を図り、相談支援体制の面的整備を一步一步進めていけるよう、引き続き委員からの意見をいただきたい。

(5) 相談支援部会について

えぽっくより資料5を説明

3 その他

事務局より今後の自立支援協議会について連絡

閉会